

RECARO

VELIX 1

取扱説明書

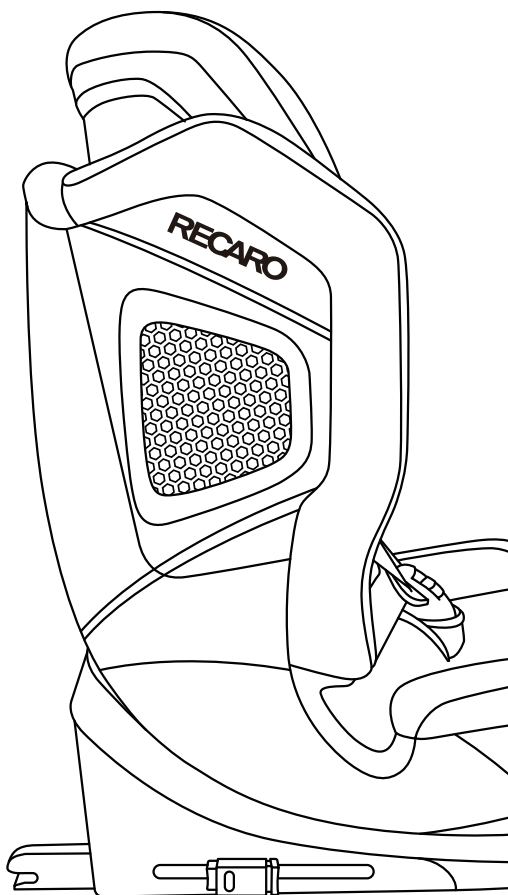
日本語版

身長 76～150 cm

15か月～12歳頃

5点式ハーネス：21 kg以下

UN ECE R129/04



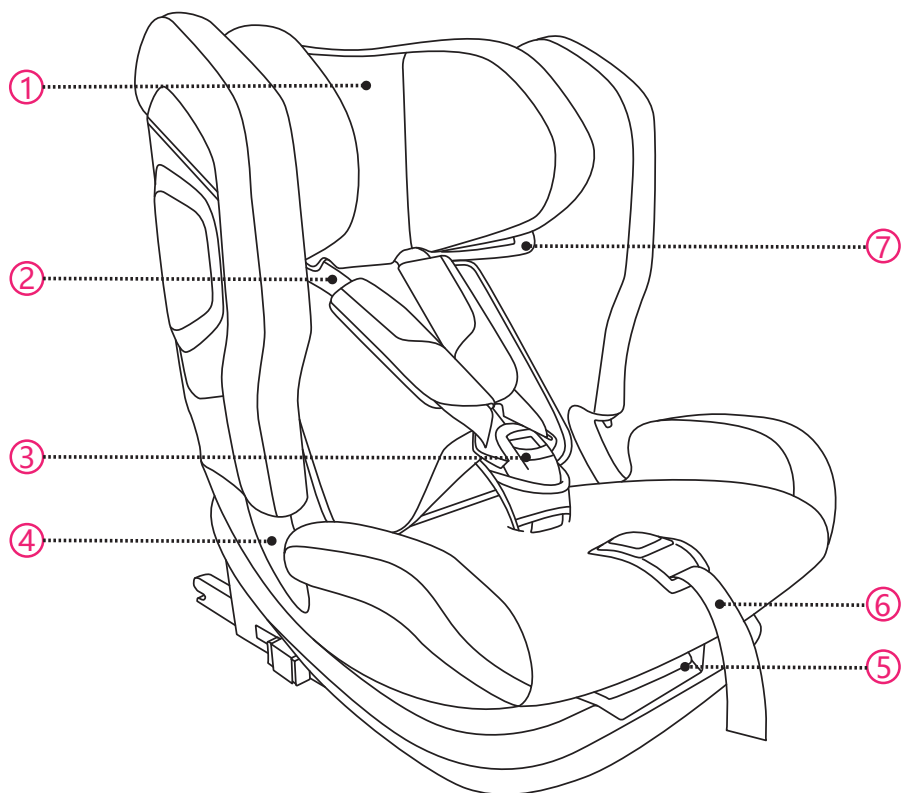
取扱説明書



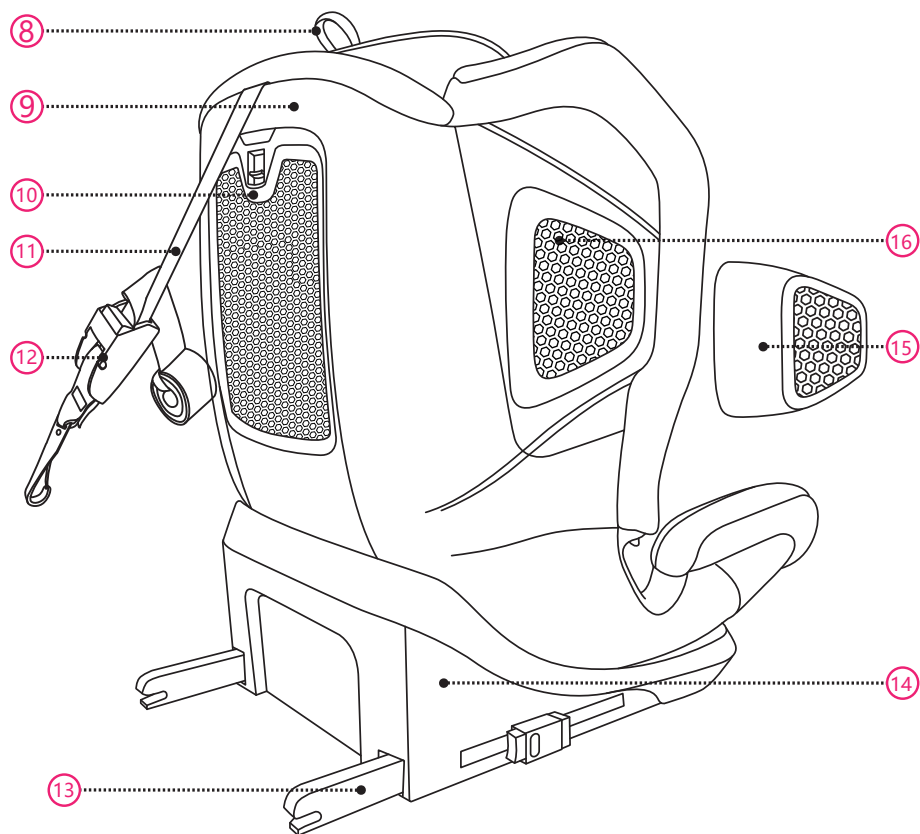
取扱動画

PROTECTING OUR FUTURE.

1 各部の名称



1. ヘッドレスト
2. 5点式ハーネス
3. 5点式ハーネスバックル
4. 腰ベルトガイド
5. リクライニング調整ハンドル
6. 5点式ハーネスアジャスター
7. 肩ベルトガイド



- 8. ヘッドレスト調整リング
- 9. バックレスト
- 10. 取扱説明書収納ポケット
- 11. トップテザー
- 12. トップテザーインジケーター
- 13. ISOFIXコネクター
- 14. シートベース
- 15. アドバンスド サイド プロテクション (ASP)
- 16. ASP取り付け部

2 取扱説明

この度は、RECARO VELIX 1を、ご購入いただき誠にありがとうございます。

本製品は、お子様の安全なドライブを確保するため、UN ECE R-129（最新型チャイルドシート安全基準）に基づいて設計、試験、および認証されています。認証ラベルは、シートベースの背面にあります。

VELIX 1は、身長76～150 cm、おおそ生後15か月から12歳頃までのお子さまを対象としたチャイルドシートとして認証されています。本製品は、「ユニバーサルチャイルドシート」に分類され、ほとんどの車両の座席に取り付けることができますが、すべての車両の座席に適合するわけではありません。詳しくは、ご使用のお車の取扱説明書をご参照ください。

チャイルドシートを取り付け、及び使用の前に、本取扱説明書を必ずお読みください。

不適切な取り付けや、誤った使用は、お子様に重大な危険を及ぼす可能性があります。本取扱説明書をお読みになった後は、チャイルドシートのバックレストの裏側にある取扱説明書収納ポケットに保管し、いつでも参照できるようにしてください。他の言語の取扱説明書は、RECARO公式ウェブサイトからダウンロードできます。

身長・使用条件	取り付け	トップテザー	固定方法
76～105 cm 15か月以上・21 kg以下	ISOFIX	使用	5点式ハーネス
100～150 cm	ISOFIX	非使用	車両シートベルト
	車両シートベルト	非使用	

本取扱説明書では、重要事項を下記のシンボルマークを用いて案内しています。

危険 「危険」は、指示に従わない場合には、死亡または重大な傷害につながる事が予想される、非常に危険な状況を示します。

警告 「警告」は、指示に従わない場合には、死亡または重大な傷害につながるおそれがある、危険な状況を示します。

注意 「注意」は、指示に従わない場合には、軽傷または中程度の傷害につながるおそれがある、危険な状況を示します。

3 重要事項

危険 VELIX 1は進行方向前向きで使用するチャイルドシートです。お子さまが15か月以上かつ身長76 cmを超えるまで、前向きで使用するチャイルドシートを使用しないでください。

・VELIX 1は、チャイルドモードとして身長76～105 cmのお子さまを対象としたi-Sizeチャイルドシートです。車両のすべてのi-Size対応座席位置に適合します。装着はISOFIXおよびトップテザーを使用してください。お車の適合する座席位置については、車両の取扱説明書をご確認ください。

・VELIX 1は、ジュニアモードとして身長100～150 cmのお子さまを対象としたi-Sizeブラスターシートです。車両のすべてのi-Size対応座席位置に適合します。ISOFIXを使用して取り付けてください。ただし、トップテザーは使用しないでください。お車の適合する座席位置については、車両の取扱説明書をご確認ください。

・VELIX 1は、ジュニアモードとして身長100～150 cmのお子さまを対象としたユニバーサルブラスターシートです。車両のユニバーサル対応座席位置に適合します。車両の3点式シートベルトを使用して取り付けてください。ただし、トップテザーは使用しないでください。お車の適合する座席位置については、車両の取扱説明書をご確認ください。

・お子さまの身長が100 cm未満の場合は、必ず5点式ハーネスを使用してお子さまを固定してください。お子さまの身長が105 cmを超えた場合は、必ず車両の3点式シートベルトを使用してお子さまを固定してください。身長100～105 cmのお子さまについては、5点式ハーネスの使用を推奨します。

・お子さまの身長が100～105 cm程度になったら、お子さまの成長に注意してください。遅くとも、お子さまの身長が105 cmを超えた時点で、5点式ハーネスによる固定から車両の3点式シートベルトによる固定に切り替えてください。ISOFIXおよびトップテザーで取り付けたチャイルドシートを取り外してください。5点式ハーネスおよびトップテザーは、誤使用を防ぐため、収納して見えない状態にしてください。その後、チャイルドシートをISOFIX及び3点式シートベルトで取り付け直してください。

・お子さまを車両の3点式シートベルトで固定する場合、チャイルドシートはUN ECE R-16または同等の基準に適合した車両の座席に取り付けてください。詳しくは、お車の取扱説明書をご確認ください。

・ISOFIXアンカーを備えた車両では、必ずi-Size対応座席位置にISOFIXを使用してチャイルドシートを取り付けてください。お車にi-Size対応座席位置がない場合に限り、3点式シートベルトを使用して取り付けてください。詳しくは、お車の取扱説明書をご確認ください。

・お子さまの身長が150 cmを超えた場合、またはヘッドレストを最も高い位置に調整した状態で、お子さまの肩が肩ベルトガイドより高くなった場合は、チャイルドシートを使用せず、車両の座席に直接座らせてください。

・最適な保護性能を得るため、アドバンスド サイド プロテクション (ASP／側面衝撃保護機能) は、車両のドア側に面するチャイルドシートの片側に必ず装着してください。

・本チャイルドシートは、アドバンスド サイド プロテクション (ASP) を装着した状態、および装着していない状態の両方で試験・認証されています。車両の中央座席に取り付ける場合は、他の乗員のためのスペースを確保するため、ASPを装着しないでください。

・すべての乗員に、緊急時にお子さまをチャイルドシートから解放する方法を知らせておいてください。

・お子さまの身長が100 cm以上で、3点式シートベルトを使用している場合は、チャイルドシートを絶対にリクライニングさせないでください。必ず最も直立位置で使用してください。

警告 お子さまの身長が105 cm未満で、5点式ハーネスを使用している場合、チャイルドシートは3段階のリクライニングポジションで使用できます。

- ・車両の後部座席に取り付ける場合は、お子さまの足が前席の背もたれに届かないよう、前席を十分に前方へ移動させてください。
- ・車両が衝突した場合、またはチャイルドシートに強い衝撃が加わった場合は、チャイルドシートの使用をやめ、廃棄してください。外観上は損傷が確認できなくても、内部に損傷を受けている可能性があります。
- ・チャイルドシートに潤滑剤を使用したり、改造したり、部品などを追加したりしないでください。お子さまを保護する性能に重大な影響を及ぼすおそれがあります。
- ・チャイルドシートの素材を傷めるおそれがあるため、刺激の強い洗剤は使用しないでください。
- ・チャイルドシートは、すべての部品が正常に機能し、損傷がないことを確認するため、定期的に点検してください。
- ・チャイルドシートにお子さまを乗せたまま、絶対に目を離さないでください。
- ・荷物やその他の物品が適切に固定されていることを確認してください。固定されていない荷物は、事故の際にお子さまや大人に重大な傷害を負わせるおそれがあります。
- ・中古のチャイルドシートを購入したり、販売したりしないでください。

注意 チャイルドシートを強い直射日光にさらさないでください。高温になったチャイルドシートは、お子さまにやけどなどの危害を与えるおそれがあります。

- ・チャイルドシートの硬質部品およびプラスチック部品は、車両を通常使用する際に、可動する座席や車両のドアに挟まれないよう、適切な位置に配置し、取り付けてください。
- ・チャイルドシートを使用すると、車両の座席に摩耗や傷などが生じる場合があります。これを防ぐため、チャイルドシート保護マットなどを使用することができます。
- ・ご家庭では使用しないでください。本製品は家庭での使用を想定して設計されておらず、車両内でのみ使用してください。
- ・チャイルドシートを操作する際は、指を挟まないよう十分に注意してください。
- ・ご不明な点がある場合は、チャイルドシートの輸入元、発売元または販売店にご相談ください。

4 取り付け方法

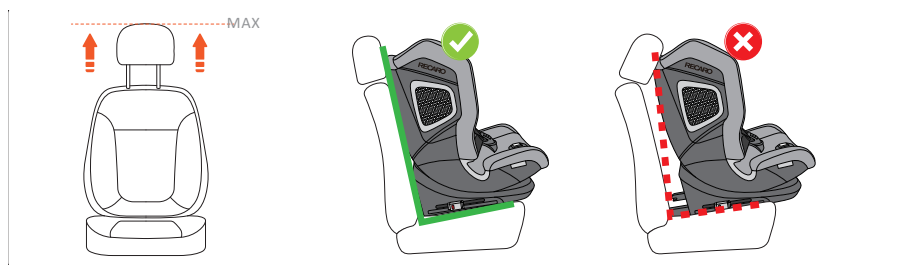
VELIX 1は、車両の座席に前向きで取り付けて使用します。取り付け方法は、ISOFIXまたは車両の3点式シートベルトの2通りがあります。取り付け方法によって、使用できる身長範囲が異なります。

身長・使用条件	取り付け	トップテザー	固定方法
76～105 cm 15か月以上・21 kg以下	ISOFIX	使用	5点式ハーネス
100～150 cm	ISOFIX	非使用	車両シートベルト
	車両シートベルト	非使用	

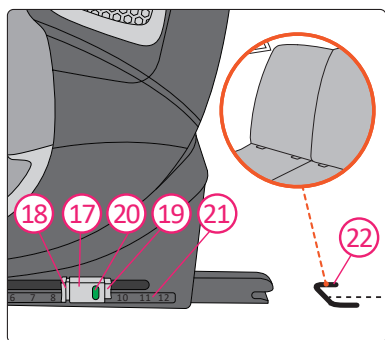
危険 毎回の乗車前に、すべてのISOFIXインジケータおよびトップテザーインジケータ^⑫（該当する場合）を確認し、すべての接続が確実に固定されていることを確認してください。

警告 チャイルドシートのバックレスト^⑨が車両のシートバックにしっかりと接していることを確認してください。また、車両のヘッドレストによってチャイルドシートが前方へ押し出されていないことを確認してください。必要に応じて、車両のヘッドレストを最も高い位置まで上げてください。

警告 車両の座席がリクライニング可能な場合は、チャイルドシートを取り付ける車両の座席を、必ず最も直立した位置にしてください。



A. 身長76～105 cm：ISOFIXおよびトップテザーで取り付け



ISOFIXコントローラー^⑰

ISOFIXリリースボタンA^⑱

ISOFIXリリースボタンB^⑲

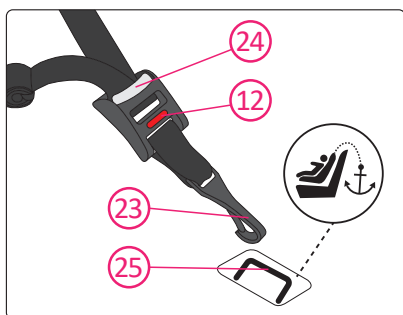
ISOFIXインジケータ^⑳

ISOFIXポジション表示^㉑

ISOFIXアンカー^㉒



ISOFIX



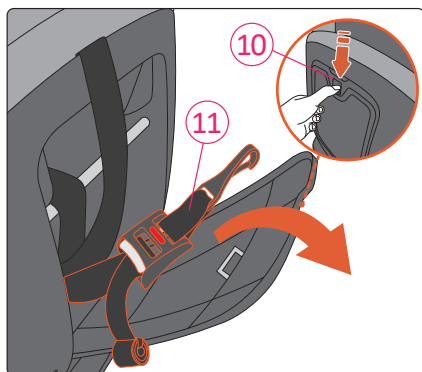
トップテザーインジケータ^⑫

トップテザーフック^㉓

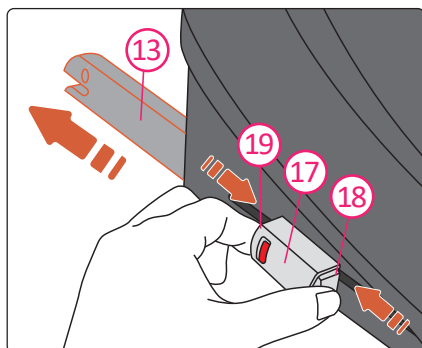
トップテザーリリースボタン^㉔

トップテザーアンカー^㉕

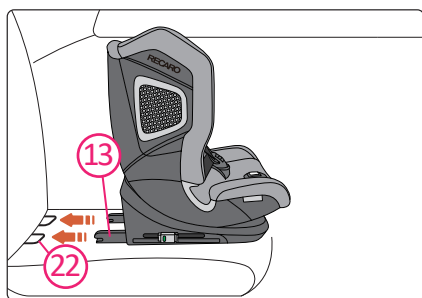
注意 車両のISOFIXアンカーおよびトップテザーアンカーの位置を確認するには、車両に表示されているISOFIXおよびトップテザーの表示を確認してください。詳しくは、お車の取扱説明書もご参照ください。



1. 取扱説明書収納ポケット⑩のボタンを押して開きます。トップテザー⑪を取り出し、ヘッドレストの前に出します。その後、収納ポケットを閉じます。

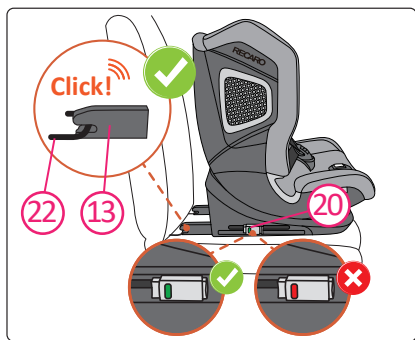


2. ISOFIXリリースボタンA⑱およびISOFIXリリースボタンB⑲の両方を押しながら、ISOFIXコントローラー⑰をスライドさせて押し、ISOFIXコネクター⑬をシートベースから完全に引き出します。左右両側で同じ操作を行ってください。



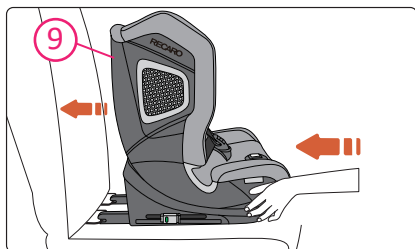
3. チャイルドシートを車両の座席に置き、両側のISOFIXコネクター⑬を車両のISOFIXアンカー⑳に合わせます。

警告 一部の車種では、ISOFIXアンカーがプラスチック製のカバーで覆われている場合があります。その場合は、先にカバーを開けるか、取り外す必要があります。

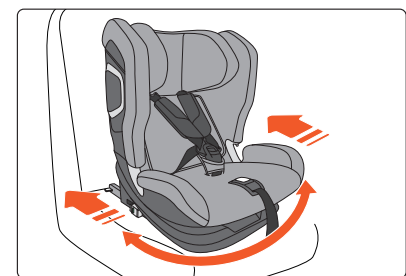


4. 片側のISOFIXコネクタをISOFIXアンカーに押し込み、「カチッ」という音がするまで確実に接続します。反対側も同じ操作を行い、両側のISOFIXコネクタを接続します。

危険 両側のISOFIXインジケータ②①を確認してください。両方が緑色を表示していれば、ISOFIXコネクタは正常にロックされています。

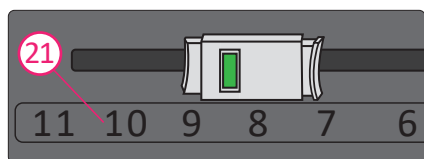


5. チャイルドシートを車両のシートバックに向かって強く押し、チャイルドシートのバックレスト⑨が車両のシートバックにしっかりと接するまで、できるだけ奥まで押し込みます。

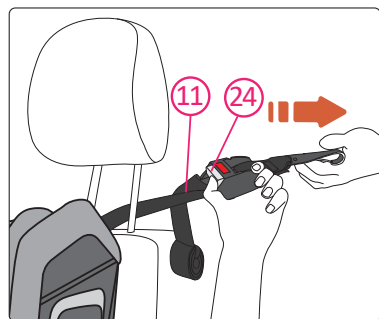


6. チャイルドシートを左右に揺らしながら、車両の座席に向かって強く押ししてください。これにより、ISOFIXコネクタとISOFIXアンカーがより確実に接続されます。

危険 チャイルドシートの左右両側を揺らしたり引っ張ったりして、チャイルドシートが確実に固定されていることを確認してください。

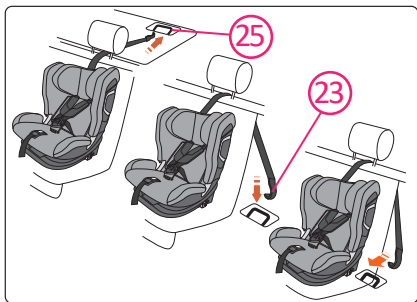


7. ISOFIXコネクタの突出量は、ISOFIXポジション表示②①の数字によって示され、ISOFIXインジケータと対応しています。チャイルドシートの左右両側のISOFIXインジケータが、ISOFIXポジション表示の同じ数字を示していることを確認してください。



8. トップテザー⑪を車両のトップテザーアンカーに接続できる長さまで伸ばします。トップテザーを伸ばすには、トップテザーリリースボタン②④を押しながら、トップテザーのフック側を引っ張ってください。

警告 お子さまを乗せていない状態で、トップテザーを接続し、張り具合を確認してください。



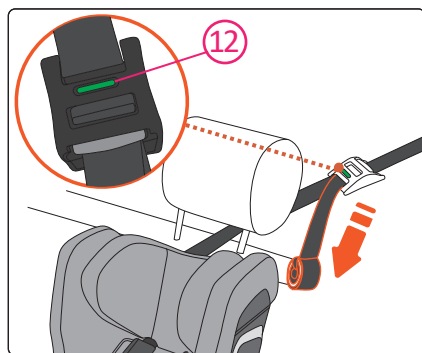
9. トップテザーフック^{②③}を、車両のトップテザーアンカー^{②⑤}に接続します。



10. トップテザーの余った部分を強く引っ張り、しっかりと張ります。

危険 トップテザーインジケーター^{①②}が常に緑色を表示している場合のみ、トップテザーが適切に張られています。毎回の乗車前、およびチャイルドシートのリクライニング位置を変更するたびに、必ず確認してください。

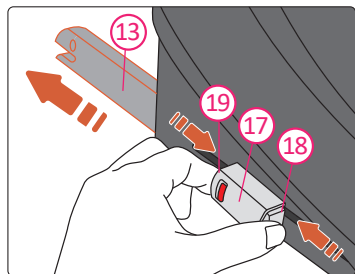
危険 トップテザーがねじれていないことを確認してください。



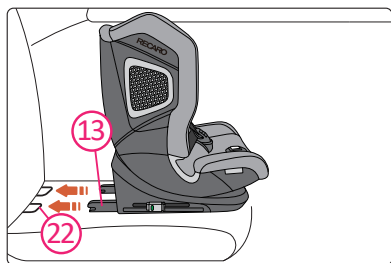
これで、身長76～105 cmのお子さまが使用するためのチャイルドシートの取り付けは完了です。続いて、シートの調整およびお子さまの固定方法をご確認ください。

B 身長100～150cm：ISOFIXのみで取り付け

警告 取り付ける前に、5点式ハーネスおよびトップテザーが収納され、見えない状態になっていることを確認してください。また、チャイルドシートのリクライニングは、最も直立した位置にしてください。チャイルドシートの切り替え方法については、第10章をご参照ください。

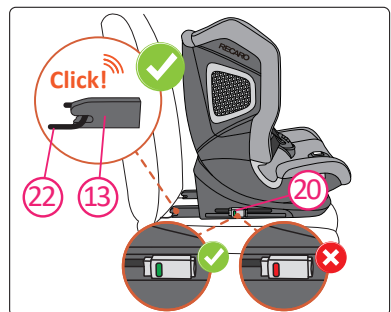


1. ISOFIXリリースボタンA^{①⑧}およびISOFIXリリースボタンB^{①⑨}の両方を押しながら、ISOFIXコントローラー^{①⑦}をスライドさせて押し、ISOFIXコネクター^{①③}をベースから完全に引き出します。左右両側で同じ操作を行ってください。



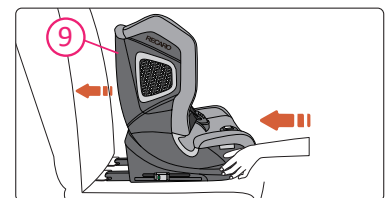
2. チャイルドシートを車両の座席に置き、両側のISOFIXコネクター^⑬を車両のISOFIXアンカー^⑫に合わせます。

警告 一部の車種では、ISOFIXアンカーがプラスチック製のカバーで覆われている場合があります。その場合は、先にカバーを開けるか、取り外す必要があります。

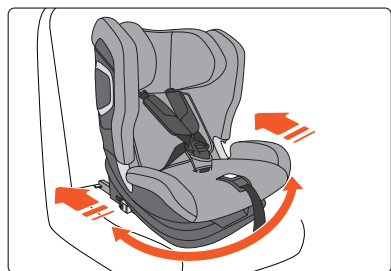


3. 片側のISOFIXコネクターをISOFIXアンカー^⑫に押し込み、「カチッ」という音がするまで確実に接続します。反対側も同じ操作を行い、両側のISOFIXコネクターを接続します。

危険 両側のISOFIXインジケーター^⑳を確認してください。両方が緑色を表示していれば、ISOFIXコネクターは正常にロックされています。

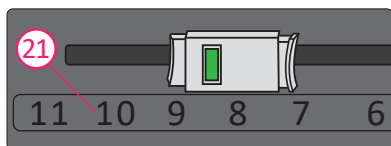


4. チャイルドシートを車両のシートバックに向かって強く押し、チャイルドシートのバックレスト^⑨が車両のシートバックにしっかりと接するまで、できるだけ奥まで押し込みます。



5. チャイルドシートを左右に揺らしながら、車両の座席に向かって強く押してください。これにより、ISOFIXコネクターとISOFIXアンカーがより確実に接続されます。

危険 チャイルドシートの左右両側を揺らしたり引っ張ったりして、チャイルドシートが確実に固定されていることを確認してください。



6. ISOFIXコネクターの突出量は、ISOFIXポジション表示^㉑の数字によって示され、ISOFIXインジケーターと対応しています。チャイルドシートの左右両側のISOFIXインジケーターが、ISOFIXポジション表示^㉑の同じ数字を示していることを確認してください。

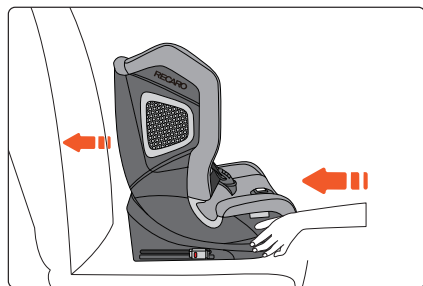
危険 この取り付け方法では、チャイルドシートをリクライニングさせないでください。必ず最も直立位置で使用してください。

これで、身長100～150 cmのお子さまが使用するためのチャイルドシートの取り付けは完了です。続いて、シートの調整およびお子さまの固定方法をご確認ください。

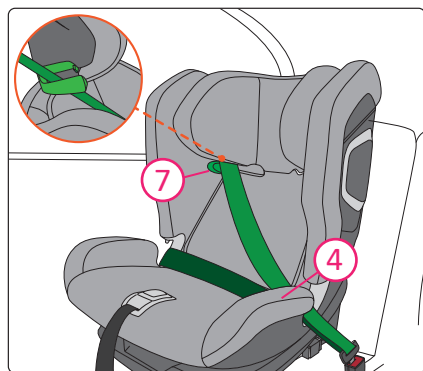
C. 身長100～150 cm：シートベルトで取り付け

車両の3点式シートベルトを使用して取り付ける場合は、お子さまが乗っていないときでも、必ずチャイルドシートを車両に固定してください。事故の際に、チャイルドシートが他の乗員に危害を及ぼすのを防ぐためです。

警告 シートベルトで取り付ける前に、ISOFIXコネクター⑬が完全に収納され、ベース内部に収まっていることを確認してください。また、5点式ハーネスおよびトップテザーも収納され、見えない状態になっていることを確認してください。チャイルドシートのリクライニングは、最も直立した位置にしてください。チャイルドシートの切り替え方法については、第10章をご参照ください。



1. チャイルドシートを車両の座席に置きます。チャイルドシートのバックレストが車両のシートバックにしっかりと接するまで、チャイルドシートをシートバックに向かって押してください。



2. シートベルトを、肩ベルトガイド⑦のいずれか1か所、および両方の腰ベルトガイド④に通します。その後、シートベルトのバックルを確実に締めてください。

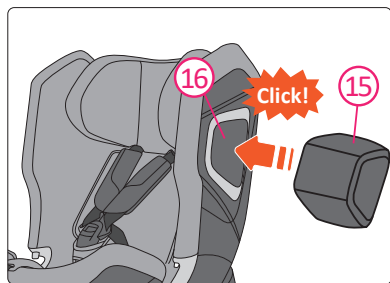
警告 日常の使用において、お子さまがチャイルドシートから降りた後も、チャイルドシートを固定しておくため、シートベルトのバックルを再度締めてください。

これで、身長100～150 cmのお子さまが使用するためのチャイルドシートの取り付けは完了です。続いて、シートの調整およびお子さまの固定方法をご確認ください。

5 アドバンスド サイド プロテクション (ASP／側面衝撃保護機能)

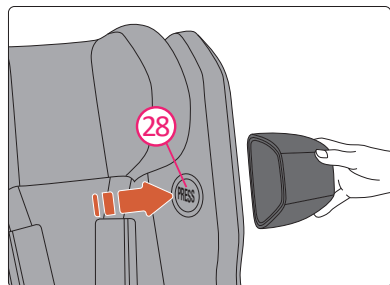
危険 最適な保護性能を得るため、アドバンスド サイド プロテクション (ASP) ⑮を、車両のドア側に面するチャイルドシートの片側に必ず装着してください。

危険 本チャイルドシートは、アドバンスド サイド プロテクション (ASP) を装着した状態、および装着していない状態の両方で試験、認証されています。車両の中央座席に取り付ける場合は、他の乗員のためのスペースを確保するため、ASPを装着しないでください。



アドバンスド サイド プロテクション (ASP) ⑮は、車両のドア側に面するチャイルドシートの側面に取り付けてください。ASPをアドバンスド サイド プロテクション ASP取付位置⑮に合わせ、「カチッ」という音がするまで内側に押し込んでください。

危険 アドバンスド サイド プロテクション (ASP) を引っ張り、確実に固定されていることを確認してください。



アドバンスド サイド プロテクション (ASP) のリリースボタンは、ASP取付位置の内側にあるチャイルドシート本体のファブリック部に設けられています。リリースボタン⑳を押す前に、アドバンスド サイド プロテクション (ASP) を片手でしっかりと支えてください。

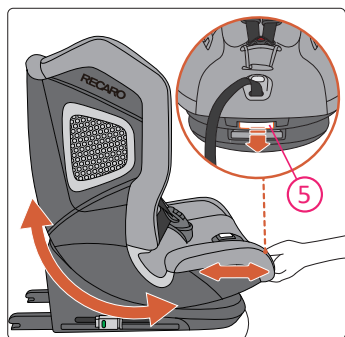
注意 取り外したアドバンスド サイド プロテクション (ASP) は、後で再度取り付けられるよう、適切な場所に保管してください。

6 リクライニングの調整

身長・使用条件	固定方法	リクライニング
76～105 cm 15か月以上・21 kg以下	5点式ハーネス	3段階
100～150 cm	車両シートベルト	最も直立した位置

VELIX 1には3段階のリクライニングポジションがあります。お子さまの身長が76～105 cmで、5点式ハーネス②を使用している場合は、3段階すべてのリクライニングポジションを使用できます。

お子さまの身長が100 cmを超え、3点式シートベルトを使用している場合は、安全性を最大限に確保するため、必ず最も直立位置で使用してください。



リクライニング調整ハンドル⑤を引き、チャイルドシートをベースに対して前後に押したり引いたりして、リクライニング位置を調整します。

トップテザー⑪の長さによっては、リクライニングの調整が妨げられる場合があります。トップテザーを使用してチャイルドシートを取り付けている場合は、リクライニングを調整する前にトップテザーを緩めてください。調整後は、トップテザーを再度しっかりと張ってください。

危険 トップテザーを使用して取り付けている場合は、リクライニングを調整した後、必ずトップテザーの張り具合を確認してください。トップテザーインジケーターが緑色を表示していることを確認してください。

7 ヘッドレストの調整

身長・使用条件	固定方法	ヘッドレスト
76～105 cm 15か月以上・21 kg以下	5点式ハーネス	下側7段階
100～150 cm	車両シートベルト	上側11段階

VELIX 1には17段階のヘッドレスト①の高さ調整位置があります。

お子さまの身長が76～105 cmで、5点式ハーネス②を使用している場合は、下側の7段階の位置を使用できます。

お子さまの身長が100 cmを超え、3点式シートベルトを使用している場合は、上側の11段階の位置を使用できます。

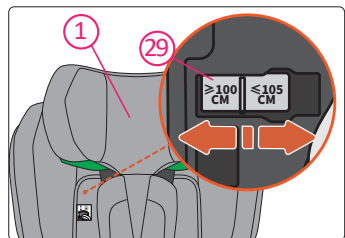
危険 お子さまの身長が100 cm未満の場合は、5点式ハーネスを使用してください。また、身長105 cmまで5点式ハーネスを使用することを推奨します。

お子さまの身長が105 cmを超えた場合は、車両の3点式シートベルトを使用してください。

警告 お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストの高さを適宜調整してください。

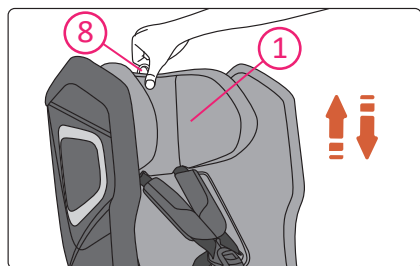
注意 ヘッドレストを調整する前に、5点式ハーネスを緩める必要がある場合があります。

ハーネスを収納している場合でも、ハーネスは取り外されているのではなく収納されているだけのため、ハーネスの長さによってはヘッドレストの調整が妨げられることがあります。ハーネスを収納する際は、最初にハーネスを最も長い位置まで伸ばしてから収納してください。



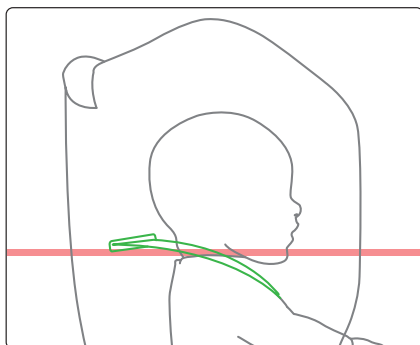
VELIX 1には、誤使用の可能性を低減するためのハイトコントローラー②⑨が備わっています。このハイトコントローラーは、身長105 cmまでの5点式ハーネス使用モードから、身長100 cm以上の3点式シートベルト使用モードへ切り替える際に調整する必要があります。

まず、ヘッドレスト①を使用可能な最も高い位置まで上げてください。その後、ハイトコントローラーをスライドさせて調整すると、それまで使用できなかった上側の位置が使用可能になり、下側の位置はロックされて使用できなくなります。



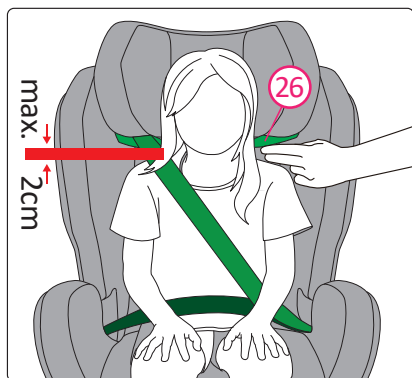
ヘッドレスト調整リング⑧を引いたまま保持して、ヘッドレスト①のロックを解除します。ヘッドレストをお子さまに適した高さまで動かしてください。調整リングを離して、ヘッドレストを固定します。

A. 5点式ハーネス使用時の適切な高さ



ヘッドレストは、5点式ハーネスの肩ストラップの付け根が、お子さまの肩のすぐ上になる高さに調整してください。

B. 3点式シートベルト使用時の適切な高さ



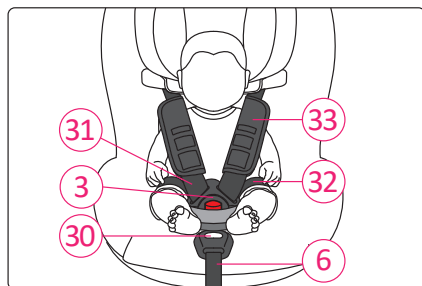
ヘッドレストは、肩ベルトガイド②⑥がお子さまの肩のすぐ上になる高さに調整してください。また、肩ベルトガイド②⑥とお子さまの肩との垂直方向の隙間は2 cm（指約2本分）を超えないようにしてください。

8 ハーネスおよびシートベルト

VELIX 1には2つの使用モードがあります。お子さまの身長が105 cm以下かつ体重21 kg以下の場合、5点式ハーネス②を使用してください。身長または体重のいずれか一方でもこの上限を超えた場合は、必ず車両の3点式シートベルトを使用してください。

A. 身長76～105 cm：5点式ハーネスによるお子さまの固定

身長・使用条件	固定方法
76～105 cm 15か月以上・21 kg以下	5点式ハーネス



5点式ハーネスシステム

5点式ハーネスバックル ③

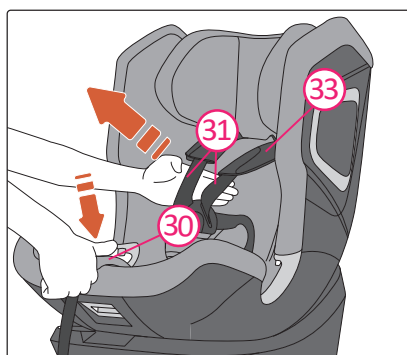
5点式ハーネス調整ストラップ ⑥

ハーネス調整ボタン ③⑩

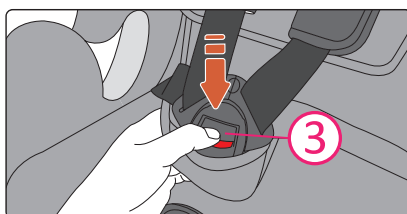
肩ハーネス ③⑪

腰ハーネス ③⑫

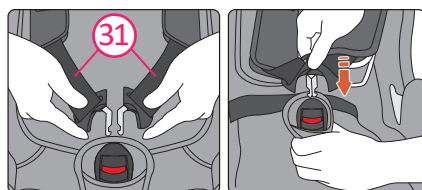
胸パッド ③⑬



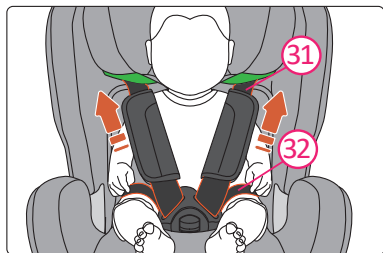
1. ハーネス調整ボタン③⑩を押したまま、肩ハーネス③⑪をできるだけ手前に引きます。このとき、必ず胸パッド③⑬より下の部分を引いてください。



2. 5点式ハーネスバックル③の赤いボタンを押して、バックルを外します。

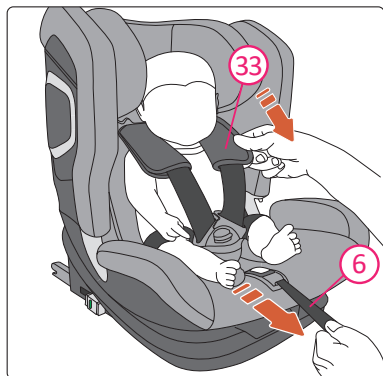


3. お子さまをチャイルドシートに座らせます。肩ハーネス③⑪をお子さまの両肩にまっすぐ通し、左右のバックルタングを合わせます。合わせたバックルタングをバックル本体に差し込みます。「カチッ」という明確な音がするまで確実に差し込んでください。



4. お子さまの背中をチャイルドシートのバックレストにしっかりとつけ、正しく座っていることを確認してください。両方の肩ハーネス③①を引いて、腰ハーネス③②を締めます。

危険 腰ハーネスがお子さまの骨盤をしっかりと固定できるよう、低い位置に装着されていることを確認してください。



5. 5点式ハーネス調整ストラップ⑥を引き、お子さまを5点式ハーネスでしっかりと固定します。

5点式ハーネスを最適な状態にするため、この調整を繰り返すことをおすすめします。

最後に、両方の胸パッド③③を完全に下まで下げてください。

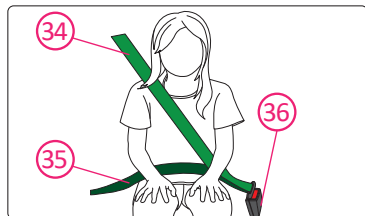
危険 締め付け後、すべてのハーネスストラップがねじれていないこと、また、ハーネスにたるみが残っていないことを必ず確認してください。

警告 お子さまを乗せて長時間移動する場合は、移動中にも5点式ハーネスの状態を確認し、必要に応じて締め直すことをおすすめします。

注意 お子さまをチャイルドシートから降ろす場合は、手順1および2に従って操作してください。

B. 身長100～150 cm：車両シートベルトによるお子さまの固定

身長	固定方法
100～150 cm	車両シートベルト



3点式シートベルトシステム

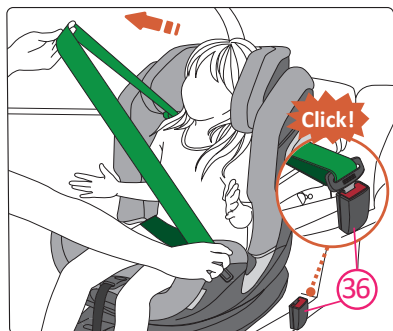
肩ベルト部分 ③④

腰ベルト部分 ③⑤

シートベルトバックル ③⑥

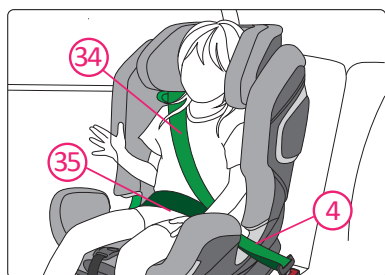


危険 2点式シートベルトでお子さまやチャイルドシートを固定しないでください。事故の際に、重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

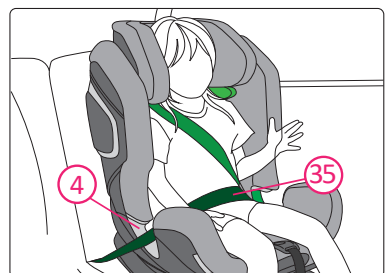


1. 外した状態のシートベルトを引き出します。お子さまをチャイルドシートに座らせ、シートベルトをお子さまの胸の前に通します。シートベルトをシートベルトバックル(36)に差し込み、「カチッ」という音がするまで確実にロックしてください。

危険 3点式シートベルトがねじれていないことを確認してください。お子さまの身体をしっかりと固定できるよう、適切に調整してください。

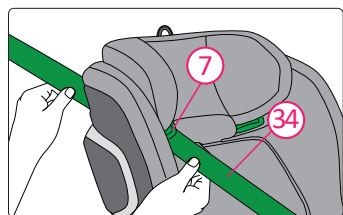


2. バックル側の肩ベルト部分(34)と腰ベルト部分(35)を、シートベースの腰ベルトガイド(4)に通します。

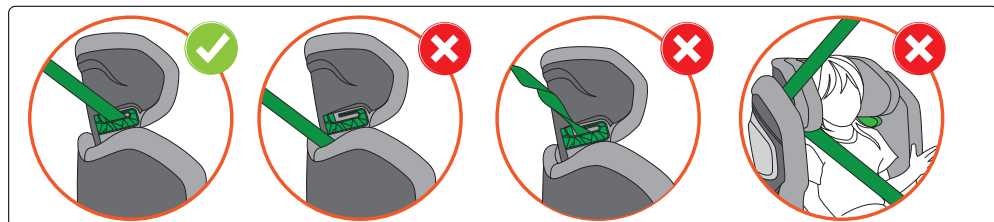


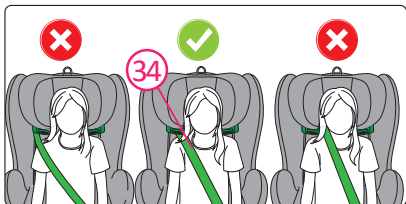
3. シートベースの反対側にある腰ベルト部分(35)を、腰ベルトガイド(4)に通します。

危険 最適な保護性能を得るため、左右両側の腰ベルト部分が、お子さまの骨盤のできるだけ低い位置を通っていることを確認してください。

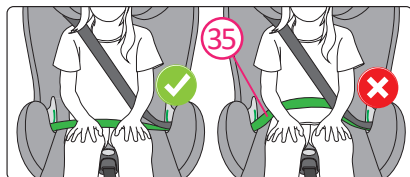


4. 肩ベルト部分(34)が、緑色の肩ベルトガイド(7)を通り、ガイドの中に完全に収まっていることを確認してください。

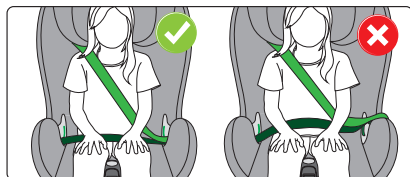




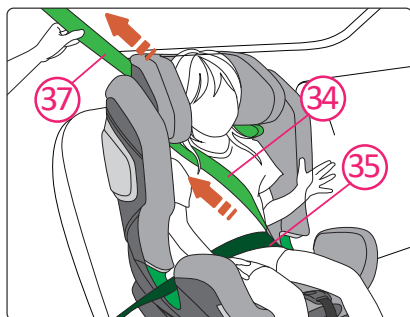
危険 肩ベルト部分③④がお子さまの首にかからず、鎖骨の上を通っていることを確認してください。



危険 腰ベルト部分③⑤ができるだけ低い位置を通り、お子さまの骨盤の骨の部分にかかっていることを確認してください。



危険 肩ベルト部分③④および腰ベルト部分③⑤の両方が、腰ベルトガイド④に確実に収まっていることを確認してください。



5. シートベルトのたるみをすべて取り除き、お子さまがしっかりと固定されるようにしてください。まず、肩ベルト部分③④をお子さまの胸の前で引いて、腰ベルト部分③⑤の張りを調整します。その後、肩ベルトガイド③⑦の上側にある肩ベルト部分を引いて、シートベルトを完全に張ります。

注意 お子さまを降ろす場合は、シートベルトバックルを外し、腰ベルトガイドからシートベルトを取り出してください。

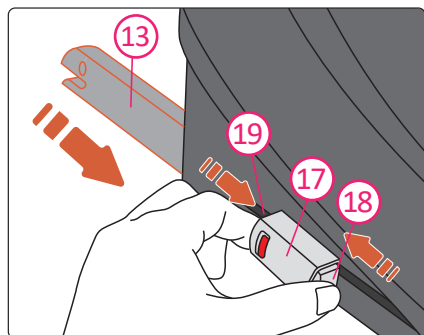
チャイルドシートをシートベルトで取り付けている場合は、お子さまが降りた後、チャイルドシートを車両に固定しておくため、シートベルトのバックルを再度締めてください。

危険 毎回の乗車前に、以下を確認してください。

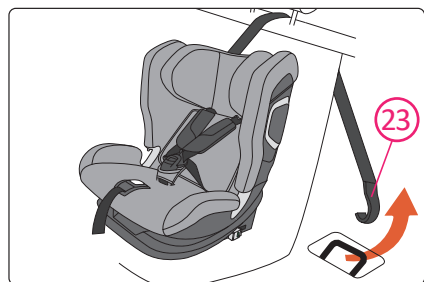
1. 腰ベルト部分が、ベースの左右両側にある腰ベルトガイドに確実に収まっていること。
2. 肩ベルト部分が、片側では腰ベルトガイドに、反対側では肩ベルトガイドに確実に収まっていること。
3. 3点式シートベルト全体がしっかりと張られ、ねじれていないこと。また、シートベルトバックルが腰ベルトガイドに挟まっていないこと。

9 取り外し

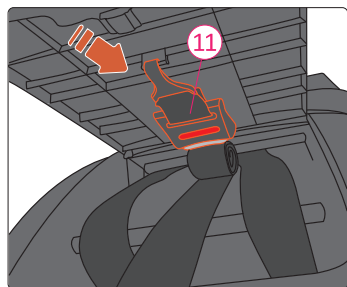
A. ISOFIXで取り付けた場合の取り外し



1. ISOFIXリリースボタンA⁽¹⁸⁾およびISOFIXリリースボタンB⁽¹⁹⁾の両方を押したまま、ISOFIXコントローラー⁽¹⁷⁾をスライドさせ、ISOFIXコネクタ⁽¹³⁾をチャイルドシートのベース内部に完全に収納します。左右両側で同じ操作を行ってください。

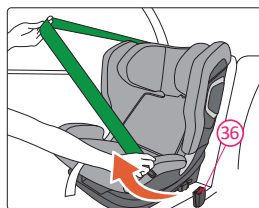


2. トップテザーフック⁽²³⁾を取り外します。



3. トップテザー⁽¹¹⁾は、取扱説明書収納ポケット⁽¹⁰⁾に収納できます。

B. シートベルトで取り付けた場合の取り外し



シートベルトバックル⁽³⁶⁾を外します。すべてのベルトガイドからシートベルトを取り外してください。

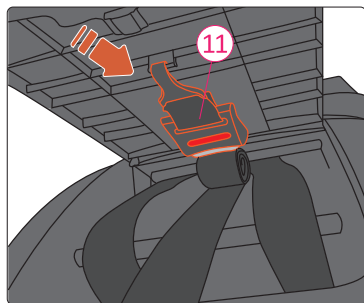
10 5点式ハーネスからシートベルトへの切り替え

身長・使用条件	取り付け	トップテザー	固定方法
76～105 cm 15か月以上・21 kg以下	ISOFIX	使用	5点式ハーネス
100～150 cm	ISOFIX	非使用	車両シートベルト
	車両シートベルト	非使用	

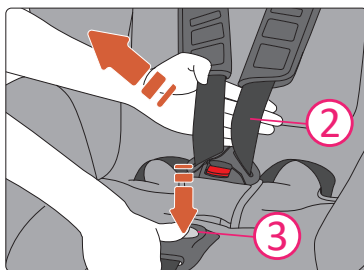
お子さまの身長が100～105 cm程度になったら、お子さまの成長に注意してください。遅くとも、お子さまの身長が105 cmを超えた時点で、5点式ハーネス②による固定から車両の3点式シートベルトによる固定に切り替えてください。

チャイルドシートを車両から取り外し、誤使用を防ぐため、5点式ハーネスおよびトップテザー⑪を収納して見えない状態にしてください。

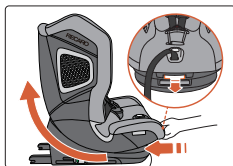
切り替え後のチャイルドシートは、トップテザーを使用せずISOFIXで取り付けるか、車両の3点式シートベルトで取り付けることができます。



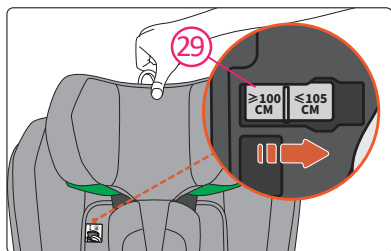
1. チャイルドシートを車両から取り外します。トップテザー⑪を取扱説明書収納ポケット⑩に収納します。



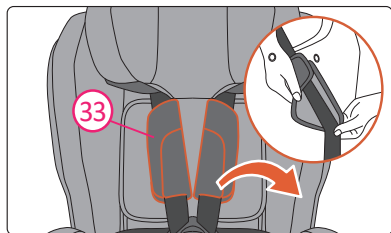
2. 5点式ハーネス②を最も長い位置まで伸ばします。5点式ハーネスバックル③を外します。



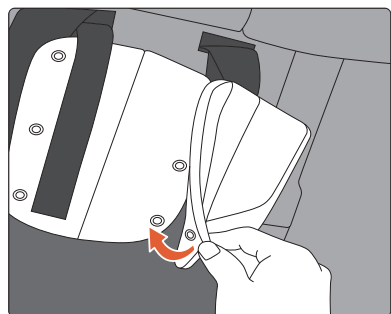
3. リクライニングを最も直立位置に調整します。



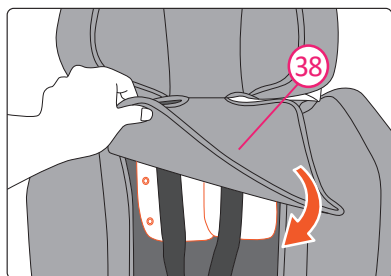
4. ヘッドレスト①を可能な限り高い位置まで上げます。ヘッドレストのカバー下にあるハイトコントローラーを調整します。



5. 胸パッド③③のスナップボタンを外します。胸パッドをハーネスベルトから離します。ベルクロは外さず、胸パッドをそれぞれの連結ベルトに取り付けたままにしてください。洗濯のために胸パッドを取り外す場合に限り、ベルクロを外してください。

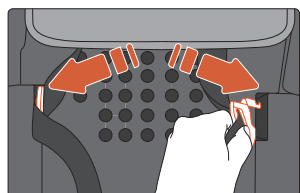


6. 右側の胸パッドを裏返し、スナップボタンで左側の胸パッドに固定します。

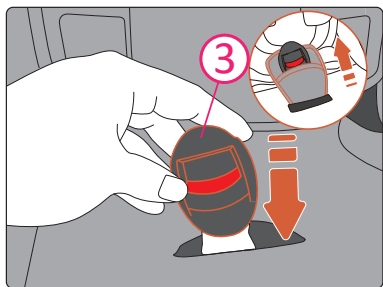


7. 連結した胸パッドをヘッドレストカバー③⑧の下に収納します。

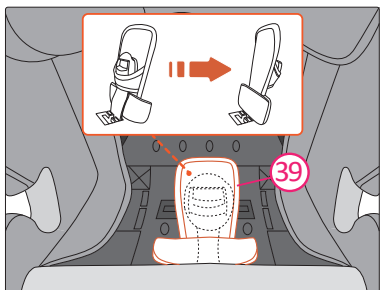
警告 胸パッドを収納した後、ヘッドレストカバーが変形していないことを確認してください。



8. 5点式ハーネスバックルのバックルタングを、それぞれ左右に設けられた所定の収納位置に差し込みます。左側の図に示されている方法で行ってください。5点式ハーネスのベルトをカバーの下に収納します。



9. 5点式ハーネスバックル③のバックル本体から股ベルトパッドを取り外します。バックル本体を、チャイルドシートカバーおよびクッションフォームのスリットに通して押し込みます。



10. バックル本体と股ベルトパッド③⑨を、図に示されている向きとは反対の向きで再び組み合わせます。これらを、カバーの下にある収納スペースに収納します。



11. チャイルドシートのカバーを元の状態に戻します。その後、チャイルドシートを、トップテザーを使用せずISOFIXで取り付けるか、車両の3点式シートベルトで取り付けます。

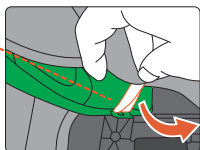
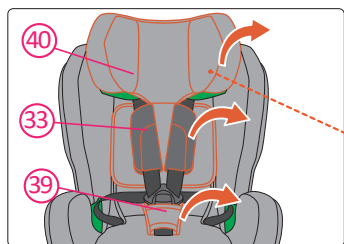
11 お手入れ・メンテナンス



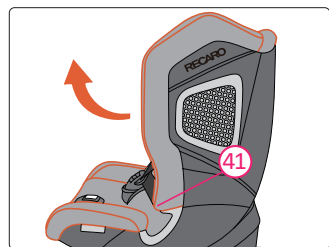
チャイルドシートのカバーは取り外して洗濯できます。洗濯の際は中性洗剤などの刺激の少ない洗剤を使用してください。洗濯機を使用する場合は、30℃のデリケート洗い（弱水流）で洗濯してください。詳しくは、カバーに付いている洗濯表示をご確認ください。

プラスチック部品は、薄めた中性洗剤と水で洗浄してください。

危険 カバーを取り付けていない状態で、チャイルドシートを使用しないでください。カバーは安全機能の一部であり、交換する場合は必ずRECARO純正カバーを使用してください。



1. ヘッドレストカバー④①を取り外します。5点式ハーネスのバックルを外します。胸パッド③③および股ベルトパッド③⑨を取り外します。



2. 左右両側にある、カバー用フック④①を外します。その後、チャイルドシート本体のカバーを取り外します。

12 保証

RECARO VELIX 1は厳格な品質管理のもと製造されていますが、万一、製造上に起因する不具合が生じた場合は、下記の条件に従い、新品として購入した日から2年間の保証をします。

本製品は本取扱説明書に従ってご使用ください。本取扱説明書の指示に反する操作によって生じた不具合は、保証の対象外となります。

メンテナンス、修理、または改造を第三者に依頼しないでください。これらを行うと保証が無効になります。

シートカバー等、生地部の破れ、摩耗、ほつれ、退色等は、保証の対象外となります。

不具合の原因が本製品以外に起因する場合は、保証の対象外となります。

事故に遭遇した場合は、保証の対象外となります。

火災、地震、水害、落雷等、自然災害に生じた不具合は、保証の対象外となります。

保証請求の際に必要なため、購入証明書を大切に保管してください。

その他、チャイルドシートの使用に関するご質問がございましたら、お気軽に輸入元、販売元、または販売店にお問い合わせください。

13 廃棄

廃棄する際は、お住まいの自治体の廃棄物処理に関する規則に従ってください。

本製品は複数のリサイクル可能な素材で構成されており、有害廃棄物は含まれていません。

RECARO Child Safety Japan

輸入元 株式会社ABCデザイン
〒250-0117 神奈川県南足柄市塚原4811-21
TEL : 0465-33-6030

販売元 かけて株式会社
〒253-0042 神奈川県茅ヶ崎市本村1-7-18-306
TEL : 050-3576-3308